

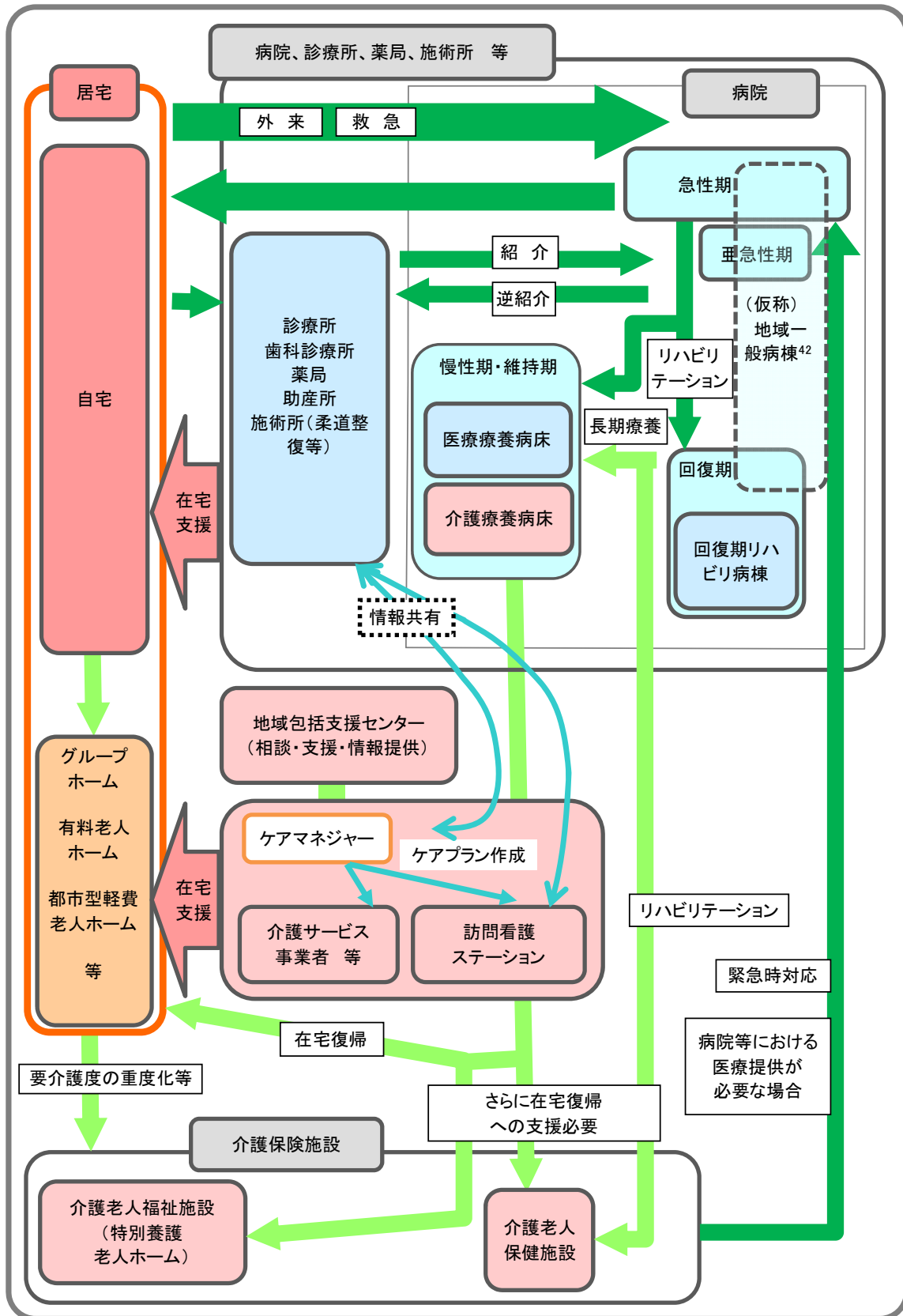
## 第6章 練馬区における地域医療の課題

国や都の動向および練馬区の現況を踏まえ、練馬区の地域医療の課題を次のようにまとめました。

- ①がん、心疾患など主要死因となっている疾病に対する医療連携をさらに充実する必要がある。
- ②高齢社会の進行に伴い、回復期リハビリテーション病床、療養病床を確保する必要がある。
- ③在宅療養を充実する必要がある。
- ④区内の救急医療体制を整える必要がある。
- ⑤周産期医療、小児医療を充実する必要がある。
- ⑥人口10万人あたりの一般・療養病床数は23区平均の3分の1で最も少なく、病床を確保する必要がある。
- ⑦地域医療の重要な役割を担っている民間病院への支援を行う必要がある。
- ⑧精神疾患を早期に発見し、早期に対応する体制を整えるとともに精神病床入院患者の退院を支援する取組を推進する必要がある。
- ⑨災害時医療救護体制を確立する必要がある。

高齢社会の進展に対応し、急性期から回復期、維持期<sup>41</sup>に渡って、区民が住み慣れた地域で安心して医療を受け、暮らし続けられるようにするためには、病床の確保に加えて、医療機関同士の連携および医療と介護の連携を推進し、次ページに示すようなネットワークの充実を図ることが求められています。

医療・介護のネットワークモデル図



※リハビリテーションは回復期リハビリ病棟に限定されるものではありません。